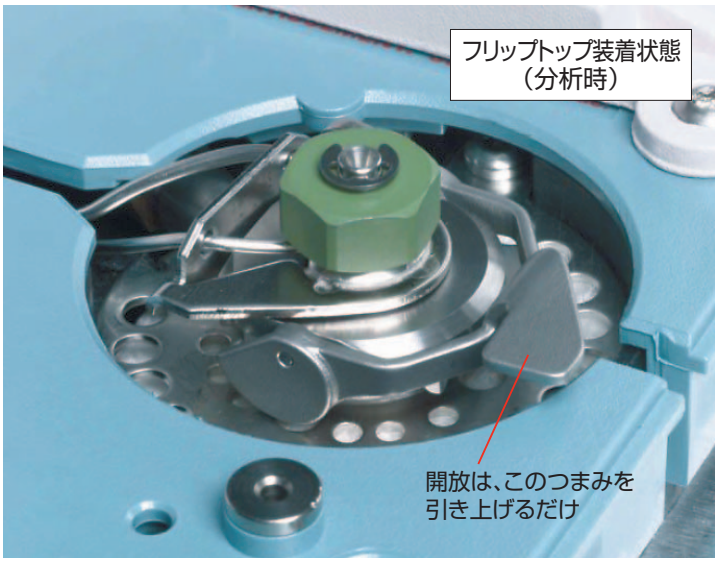
Agilent フリップトップ注入口システム

Agilent GCのスプリット/スプリットレス注入口をワンタッチで開放！ライナをすばやく簡単に交換できます

- 注入口ライナ交換がたったの30秒で可能
- 専用工具は要りません
- ライナ交換時の火傷やすり傷の心配は不要です
- システムダウンタイムを大幅短縮できます
- カラムが空気に触れる時間が減少し、カラムの劣化を最小にします



GCユーザの悩みを解消

GC、GC/MSDシステムで分析を行う際、最も頻繁なメンテナンス作業の1つが注入口ライナの交換です。汚れた注入口ライナの交換には専用レンチが必要で、高温になっている注入口を開けるときは非常に注意しながら作業をしなければなりません。また、ライナ交換後は、注入口ナットをしっかり締めなければなりません。締め付けは専用レンチで作業を行いますが、レンチからナットが外れやすく、外れたナットはすり傷、火傷等のケガの原因にもなります。専用レンチを使用して、汚れたライナを取り出して新品に交換するには、5分以上はかかります。分析者が交換作業を終えて、再度分析を開始する時までに、少なくとも15分のダウンタイムが発生してしまいます。

このフリップトップ注入口システムはワンタッチでスプリット/スプリットレス注入口を開放できる画期的なシステムです。開閉はつまみを上下に操作するだけ。わずか30秒でライナ交換作業が終了します。

Agilent Technologies

プレミアム Non-Stick 0-リング

GC注入口0-リングが改良され、新パッケージで登場。
ライナや注入口へのこびりつきがなく、簡単に交換できます。
標準タイプとフリップトップ注入口システム用をご用意しました。

ガスクロマトグラフ注入口のライナの交換作業で問題になる0-リングの粘着（こびりつき）。Agilentの プレミアムNon-Stick 0-リングは、独自のプラズマコーティング処理により、ライナや注入口へのこびりつきがありません。ライナ交換時の残存物（ビット）をこすり落とす必要はなくなり、簡単にライナ交換ができるようになります。

Agilent プレミアム Non-Stick 0-リングの特長

- プラズマ処理により「こびりつき」がありません。
- プレクリーニング処理でコンタミネーションをなくしました。（Agilent特許）
- 無菌室環境で製造され、清潔さを保ったままダイアルパッキングで梱包されています。
- 新パッケージでは1個ごとに取り出せますので、使用しない0-リングは汚染されません。

▲R社の0-リング
注入口にこびりつきが見られます。
（写真右上部）

▲AgilentのNon-Stick 0-リング
「こびりつき」がなく、交換も簡単

部品番号	品名/仕様	入数	価格（円）
5188-2717	フリップトップ注入口システム ※1	1	74,000
5188-5366	フリップトップ用0-リング、フルオロカーボン製 ※2	10	2,800
5188-5365	0-リング、フルオロカーボン製、10個入	10	1,600

※1 ●フリップトップ注入口システムはお客様自身で取り付けていただきます。取り付けに要する作業時間は約15分です。
●フリップトップ注入口には専用のライナ用0-リング（5188-5366）が必要になります。購入時には2個付属しています。
●最高使用温度は350 ℃です。

※2 フリップトップ用0-リングは、当面の間、従来のパッケージで出荷されます。近日中に新パッケージに変更されます。

価格は予告なく変更になる可能性があります。ご注文時には最新の価格をご確認ください。

アジレント・テクノロジー株式会社
本社/〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1
●カストマコンタクトセンター 0120-477-111

※仕様は予告なく変更する場合があります。

www.agilent.com/chem/jp

copyright © 2007 Agilent Technologies
All Rights Reserved.
本書の一部または全部を書面による事前の許可なしに複製、改変、翻訳することは、著作権法で認められている場合を除き、法律で禁止されています。
Printed in Japan. Feb. 1, 2007
5989-4595JAJP

Agilent Technologies